

## JI / CDMプロジェクト政府承認審査結果について

平成14年12月12日

下記の共同実施（JI）及びクリーン開発メカニズム（CDM）に係る事業については、京都メカニズム活用連絡会にて審議の結果、いずれの案件についても事業承認指針に基づき、平成14年12月12日（木）付けで承認され、経済産業大臣名の政府承認レターを通知。なお、当該事業は我が国が承認するJI及びCDMそれぞれの最初の案件となる。

本件は、平成14年10月18日付けで経済産業省に対し日本政府承認の申請がなされ、京都メカニズム活用連絡会において、上記2件に関するプロジェクト支援担当省庁は経済産業省と決定されていたもの。

なお、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）によるカザフスタンでのJI案件については、今後、カザフスタンが京都議定書を締結すること及び附属書Bに加入すること<sup>(注)</sup>を前提として承認された。

豊田通商によるブラジルでのCDM案件については、今後、有効化審査を受けるため、運営組織（OE）に対してプロジェクト・デザイン・ドキュメント（PDD）を提出するとともに、ホスト国の承認を得る必要がある。

(注) JIの要件のひとつは、ホスト国が数量化された温室効果ガスの抑制・削減約束義務を受け入れていることであり、すなわち京都議定書附属書Bに記載されていることである。カザフスタンは現在、附属書Bに記載されていないが、昨年のCOP7の場において明確に附属書B入りを表明している。

### 1. 共同実施（JI）

申請者	実施国	プロジェクト名	プロジェクトの概要	クレジット獲得量
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	カザフスタン	熱電併給所省エネルギーモデル事業	熱電併給所において日本で導入実績のある高効率のガスタービン及び排熱回収ボイラによるコジェネ設備を導入する	年間約6万2千トンのCO <sub>2</sub>

### 2. クリーン開発メカニズム（CDM）

申請者	実施国	プロジェクト名	プロジェクトの概要	クレジット獲得量
豊田通商株式会社	ブラジル	V&M Tubes do Brazil 燃料転換プロジェクト	バイオマスを利用した鉄鋼生産	年間約11.3万トンのCO <sub>2</sub>